

平成19年度

教育行政執行方針



— 豊かな心の人のまち —

◇基本目標◇

～生涯学習のまちづくり～

町民一人ひとりが生涯を通して自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その学習効果が地域づくりといきいきとした生活に生かされるような生涯学習社会の構築をめざします。

～豊かな人材のまちづくり～

あらゆる町民がその人のもつ能力を生かし、町づくりに参加できる、連帯感のある楽しい町づくりを目指し、その基礎となる人づくりを積極的に促進します。

上富良野町教育委員会

平成 19 年度 教育行政執行方針

平成 19 年第 1 回定例町議会の開会にあたり、上富良野町教育委員会の教育行政の執行にかかわる主要な方針について申し述べ、町議会をはじめ町民各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ はじめに

現在、わが国では、地方分権や行財政改革、経済構造改革など、新しい社会システムの構築が進められ、地方が主体性を発揮する社会の実現をめざしています。

このような中、教育の分野におきましても、教育基本法の改正やゆとり教育の見直し、また教育委員会制度のあり方など、教育改革に関する議論が本格化してきています。それは、次代を担う子どもたちが倫理観や規範意識を確実に身につけ、学力と人格を磨き、健やかな心身をもって、21 世紀の社会に大きく羽ばたいてほしいと願う心からであります。

本町におきましては、子どもたちが輝くまちづくりを進めるため、国の教育の進むべき方向や、そのあり方の動向を注意深く見守るとともに、命を大切にする心や思いやりの心、自らを律する心などの「豊かな心」と「確かな学力」、そしてたくましく「生きる力」を持つ子どもたちの育成に努めてまいります。

また、学校の危機管理や、いじめ問題など、子どもたちに係わり、全国的に憂慮すべき問題が発生し、喫緊の課題となっています。中でも「いじめ」の問題については、いじめは絶対に許さないという強い意志のもと、学校、家庭はもとより、地域の協力・連携により命を大切にす教育を充実し、いじめの根絶を図ります。

教育委員会といたしましては、教育に関する今日的な課題に対応するため、平成19年度の重点推進項目として「あいさつ運動」と「早寝、早起き、朝ごはん運動」に取り組み、人と人との心のつながりを深め、子どもたちの望ましい基本的な生活習慣の育成を図ってまいります。

■ 学校教育の推進

学校教育につきましても、いま義務教育に求められているのは、学校の持つ教育力、すなわち「学校力」を強化し、「教師力」を高めることにより、子どもたちの「人間力」を豊かに育てることにあります。

そのためには、各学校の方針や重点を明確にした教育計画を策定し、その計画に基づき、新しい時代にふさわしい学校経営を推進します。更に教師力を高めるため各種研修会等への参加を奨励し教職員の資質や指導力向上をめざしてまいります。

総合的な学習においては、体験学習や問題を解決する学習を取り入れ、学年に応じたカリキュラムにより、子どもたちが自ら学び自ら考える力を高めてまいります。

国では、本年度、約40年ぶりに児童生徒の学力・学習状況調査を実施することになりました。この調査に協力し、教育施策の成果と課題を検証し、今後の学校教育推進の参考にしていきたいと考えております。

児童生徒の指導等についてであります。心身ともに健全な子どもたちを育むために、学校や家庭ばかりでなく地域全体が人と人とのふれあいを高めながら取り組むことを基本とし、児童生徒

の指導等に努めてまいります。

今日、深刻な問題となっている「いじめ問題」についてであります。本町においては現在のところ深刻な状況の問題は発生していませんが、いじめられていると感じている子どもたちの存在も確認されていることから、これらの児童生徒の視点に立って、各学校において教育相談体制を充実し、細心の注意と緊張感をもって、いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。

また、上富良野中学校に配置している「心の教室相談員」は、いじめや不登校など問題行動の未然防止に大きな効果をあげており、本年度においても、引き続き心の教室相談員を配置し、生徒の悩みや相談に応じてまいります。

へき地・複式教育は、ますます少子化が進み、児童が減少する中で、小規模校としての特性を生かし、体験活動を主体とした学習に取り組み、それぞれの地域に応じた特色ある教育活動の推進に努めてまいります。

また、江幌小学校は、本町で唯一の「特認校」として、地域の自然や文化などの教育環境の活用を図るとともに、体験的な活動を取り入れ、特色のある学習活動を推進してまいります。

特別支援教育につきましては、昨年12月に教育基本法が改正され、その中で、特別支援教育に係わり、障害のある児童生徒一人ひとりに、その障害の状況に応じ、教育上必要な支援を行うこととなりました。

特別支援教育への取り組みとして、昨年5月に小・中学校、保育所、幼稚園、保健福祉課、教育委員会等の代表者により、「上富

良野町特別支援教育連絡協議会」を設立し、町や学校内における体制の充実を進め、障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けて必要な支援を行ってまいります。

各学校においては、校内委員会を設置するとともに、コーディネーターを中心に、学習障害等を含む障害のある児童生徒への指導や支援が適切に行われるよう推進してまいります。

引き続き、上富良野小学校と上富良野西小学校には、特別支援教育指導助手を配置し、特別支援教育の指導、及び支援体制の充実を進めてまいります。

学校の危機管理につきましては、教育課題が数多くある中でも、大きな課題の一つと認識し、地域住民やPTA、学校とのより密接な連携と、「青少年健全育成をすすめる会」等の民間活動を主体に、地域の子どもは地域で守り育てるという考えのもと、子どもたちの安全と安心な生活の確保に努めてまいります。

また、児童生徒に対する交通事故防止や学校内の危険防止、更に自然災害などに対する安全教育や他人を思いやる心の育成にも努めてまいります。

教育環境の整備につきましては、現在の財政状況を踏まえ、緊急性の高いものから計画的に整備を進めてまいります。

本年度は、上富良野中学校の教育用コンピューターの整備と特別教室3室の床を改修するよう計画しております。

また、上富良野小学校の校舎整備については、できるだけ早い時期に改築、もしくは改修の判断を行い、第5次総合計画に具体的に整備年次、整備内容等の方向性を定めてまいります。

学校給食につきましては、平成17年に食育基本法が制定され、学校給食についても大きな関心が寄せられてきているところであり、食育は、もともとどの世代にとっても必要なものですが、特に子どもたちにとっては、健全な心と、強い身体を培い、豊かな人間性を育くむ基本となるものであります。

本町の学校給食においても、地元の食材を積極的に取り入れ、安全で栄養バランスに配慮し、しかもおいしいといわれる給食を提供するよう最大限の努力を重ねてまいります。

更に、衛生上安全で安心な給食を提供するため、老朽化した給食配送車1台を更新する予定としております。

幼児期における教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であります。この幼児教育を担う私立幼稚園に対し、幼児教育振興のための支援を行なってまいります。

また、延長保育を希望する保護者に対し、時間を延長して預かり保育を行う事業についても、引き続き支援してまいります。

国際理解教育につきましては、友好都市提携を結んでいるカナダ国アルバータ州カムローズ市から迎えている英語指導助手により、児童生徒に対し生きた英語の学習を進めてまいります。

また、各保育所や幼稚園においても、園児たちとのふれあいの中で英語に親しみ、国際理解を深めるよう進めてまいります。

道立上富良野高等学校の振興につきましては、平成18年度に新校舎、及び校庭などの環境整備が全て終了し、恵まれた環境の中での高校生活が過ごせることとなりました。

しかしながら、平成19年度に向けての出願状況は少子化等の影響と他市町村にある高校への志望増加の影響を受け、定数を大きく下回る状況にあります。昨年2月に公表された新たな「高校教育に関する指針」では、1学年3学級以下の高校は、原則再編整備の対象ということから上富良野高等学校の存続については大変厳しい見通しであります。

この厳しい状況に対処するため上富良野高等学校が地域に根ざし、特色ある高校づくりの活動が進められるよう上富良野高等学校教育振興会と連携して、積極的に協力・支援を行ってまいります。特に、社会の第一線で即戦力となる人材を育成するため、各種の資格や技能を修得する際の助成等を行い、就職に強い高校となるよう支援してまいります。

■ 社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、「豊かな人間性を育み、うるおいのある地域づくり」をめざし、ふれあいと学びあいを重視した文化活動やスポーツ活動などにより町民の生きがいづくりの推進に努めてまいります。

第6次社会教育中期5カ年計画の4年目を迎え、「生活づくり、人づくり、健康づくり、文化づくり、条件づくり」5つの領域について検証を行い、誰でも、いつでも、どこでも自由に学びあえる環境づくりに努めてまいります。

特に、子どもたちを取り巻く環境は、不審者の出没やいじめ問題など極めて深刻な状況にあり、家庭はもとより学校と地域が一体となって、子どもたちを育てていく環境づくりを社会教育の面からも取り進めてまいります。

家庭教育につきましては、家庭は社会生活の原点であり、教育の出発点であります。子どもの発達段階に応じた子育てのための学習機会の充実とネットワークづくりを進めるため、町担当部局との連携のもと家庭教育力の向上をめざします。

また、子どものころから基本的な生活習慣や人を思いやる心を身に付けることができるよう、「あいさつ運動」と「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進に取り組んでまいります。

青少年教育につきましては、次世代を担う青少年の健全育成のため、家庭や学校はもとより地域に生活する大人たちで育てていくことが重要であります。子ども会やスポーツ少年団の活動を支援し、引き続き各種の体験活動を通して心身ともに健全な青少年の育成に努めてまいります。

放課後の子どもたちの安全な居場所づくりにつきましては、これまでの「放課後スクール」と、東児童館と西児童館で行われていた「留守家庭児童」の事業を一体化し、本年度から新たに「**放課後プラン**」として取り組んでまいります。

留守家庭の児童については、午後6時まで受け入れるよう事業を拡充して進めることとしています。

上富良野小学校区では、全日程の事業を学校施設を中心に進めることとし、上富良野西小学校区は、授業のある平日は学校施設内で行い、土曜日や夏・冬休みは西児童館で行ってまいります。

東中小学校と江幌小学校においては、これまでと同様に週1回学校を訪問する巡回型の「みんなで遊ぼう教室」を行い、お手玉や竹馬などの昔あそびや、ぬりえ、ドッチボールなどで子どもたち

と指導者がふれあうことにより、子どもたち一人ひとりの成長を
めざします。

青少年海外派遣事業は、7月30日から8月7日までの9日間
の予定で、町長をはじめ5名が引率者して、カナダ国カムローズ
市に中学生と高校生20名の派遣を行います。カムローズ市にお
いては一般の家庭にホームステイし、カナダ国の文化や家庭生活
を実際に体験するよう計画しております。

また、友好都市カムローズ市と交流を始めてから昨年、20周
年を迎えました。一年遅れとなりますが、3年に一度の青少年国
外派遣事業にあわせ、ささやかな20周年の記念事業を子どもた
ち参加のもとカムローズ市で実施する予定としています。

成人・高齢者教育につきましては、成人の学習活動として、学
習意欲に応じた公民館講座や学習活動など機会の提供と自主的な
サークル活動への支援を行ってまいります。

高齢者の学習活動としては、いしずえ大学を引き続き運営し、
健康で生きがいのある社会生活を送ることができるよう支援して
まいります。また、高齢者の持てる知識と知恵を生かしたボラン
ティア活動にも積極的に取り組んでまいります。

文化芸術振興につきましては、引き続き文化講演会を開催する
とともに、文化や芸術活動をされている方に活動の場の提供、町
内で催される芸術文化の発表や講演会の開催に協力することによ
り、町民の文化水準の向上に努めてまいります。

図書館につきましては、町民多くの学習の拠点として、更に利用拡大に努めます。引き続き、読み聞かせ活動や本に関する学習会、研修活動を行うことにより、親しみのある図書館づくりに取り組んでまいります。

また、道立図書館をはじめ近隣図書館とのネットワークを進めることにより、利便性や機能性の向上に努めてまいります。

スポーツ振興につきましては、心身ともに健康で充実した生活を営むために、誰でも気軽に運動ができるスポーツ環境を整えるとともに、体育施設の適切な管理と利用促進を図ってまいります。

国の「スポーツ振興計画」に基づき、町民が年齢や技術にとらわれることなく、いつでも気軽にスポーツに接することができるしくみをつくり、町民の健康推進に寄与するため、体育協会をはじめ関係団体の意見を聞きながら、総合型地域スポーツクラブ設立の可能性を検討してまいります。

社会教育施設につきましては、社会教育総合センターが建設から約20年を経過するなど、各施設とも修繕を加えなければならない箇所が増えてきています。必要な修繕等を計画的に行い、適切な維持管理に努めてまいります。

屋外運動施設については、社会教育総合センター南側の広場の芝生を養生するため、今年度は利用期間を短縮し、回復に努めますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

また、昨年度末で閉校となった清富小学校の跡利用として、恵まれた自然環境を生かし、多世代交流センターとして適切に管理し、広く活用を図るとともに将来の活用方法について検討を進めてまいります。

■ おわりに

以上、平成19年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

未来を担う人材を育成するため、教育・文化・スポーツの振興を図り、子どもたちが心身ともに健やかに育ち、激動の時代にあっても夢や希望に向かってたくましく生き抜く力を育む施策の充実に全力で取り組んでまいりますので、議員並びに町民の皆さまのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

平成19年3月1日

上富良野町教育委員会